

建設「安全衛生管理を最重視」 岩部 事業協力会との総会で岩部社長

【半田】総合建設業の岩部建設（本社愛知県武豊町西門74、岩部雅人社長）と、工事協力会社で組織する岩部建設事業協力会（EBCI、会長＝杉浦秀一、杉屋工業社長）は7日、武豊町民会館ゆめたろうプラザ輝きホールで関係者約200人が参加し、総会、安全表彰、特別講演会を開いた。

同総会は全国安全週間に合わせて毎年この時期に行っているが、昨年、一昨年はコロナ禍で中止となった。

今回は、広い会場で感染症対策を講じた上で実施した。

総会の冒頭で、杉浦EBCI会長は「7月の第1週は



総会であいさつする岩部社長

安全週間。現場での危険予知対策、品質向上、ロス削減へ共に協力し、東海地区唯一の建設集団を目指すとともに、豪雨や地震などの災害対策、熱中症などの健康管理に努めよう」と呼びかけた。

岩部社長は「建設産業には、本来あるべき姿への変化を求められている。そんな中でも、最も重視するのは安全衛生管理。作業の際は、コロナだけでなく、熱中症、風雨、地震に警戒し、また、周囲にも目配り、気配り、心配りし危険の芽を摘み、労働災害防止に努めてほしい」とあいさつした。

その後、河崎海事、ダイケン、光電気工事の3社を安全表彰した。さらに、将棋界の藤井聡太五冠の師匠である棋士の杉本昌隆氏が「弟子・藤井聡太の思考法」をテーマに特別講演。最後は、参加者全員で安全決意三唱を行い、閉会した。